

さとりめんと

関西労災病院広報誌 2010-JUL.No.13



新院長からのあいさつ

～ご満足いただける病院へ～

林 紀夫



今年の4月より、病院長を引き継ぎました林 紀夫でございます。従来の運営方針を継承しながら、当院をさらに発展させたいと思います。また、高度医療病院としての機能を高め、職員の能力向上を図ることにより病院の医療安全レベルをさらに引き上げ、患者さまにご満足いただける病院にして参ります。

本年度は最新医療機器(CT320列、3.0テスラMRI)が稼働し、従来の検査待ち時間の改善及び、より精度の高い画像検査が可能となります。また、5月からは医療安全の確立などに資するため最新鋭の電子カルテの導入も行いました。更には、手術待ち患者さまを解消するための手術室増設計画や、現在のがん診療に不可欠な最新の放射線治療機器の導入なども予定されており、地域がん診療連携拠点病院としての機能向上を図りたいと思います。



CT320列CT



3.0テスラMRI

なお、地域の先生方の多大なご協力により、昨年末には地域医療支援病院として認められましたので、地域医療連携をさらに進め、患者さまにご満足いただけるように医療内容を充実させるとともに病院のホスピタリティを高めたいと考えています。

最近の医療・医学の進歩は目を見張るものがあります。患者さまにはもちろん最新の医療を提供する必要がありますが、医療内容を十分にご理解いただき、患者さまと医療者が一体となって治療に取り組まなければなりません。本年度も患者さまには安全で良質な医療の提供を行い、安心して治療を受けていただけるよう職員一同努力いたしますので、宜しくお願ひいたします。

最新鋭★電子カルテの導入

本年5月5日から、当院に最新鋭の電子カルテシステムが導入されました。システム運用が軌道に乗れば、待ち時間短縮など「患者サービス」向上や医療安全推進など「医療の質」向上に効果が期待されます☆

稼働当初は、従来の紙カルテによる診療に比べ、電子カルテ入力に時間を要するなど、多少ご迷惑をおかけしていましたが、それも終息に向かいつつあります。これからは、地域がん診療連携拠点病院としての機能向上を図りたいと思います。この電子カルテシステムに、ご期待ください☆



『兵庫県肝炎治療特別促進事業』改正について!!

平成22年4月より、インターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療にかかる月々の医療費の自己負担額について、助成内容が改正されました。

詳しい改正の内容等につきましては各都道府県のホームページやお近くの申請窓口にてご確認ください。

※お住まいの地域の健康福祉事務所・保健所等で申請受付を行っております。



理念
基本方針

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効率的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。